

JFF #807z シクロクロス



OnebyESU JFF アルミシクロクロスフレームの6作目となる「#807z」。前作「#807」から2年経過し、アップデートモデルとして完成しました。#807の開発秘話は「Vol.41-2」にて詳しく掲載してしていますように、

生産工場の変更や、正式発表しながら商品として納得できず発売を1年延期するなど大変難産でした。JFF CXシリーズのジオメトリーは究極の場面で抜群のコントロール性を発揮するものですが、現在のレースシーンに対応するジオメトリーとしてほぼ完成形となったCXシリーズに、更に妥協なく走りを追求めた結果として、新たなサイズのフロントフォークとヘッドパーツの開発にも至りました。こちらは5月に配信しました「Vol.59」に詳しく掲載しています。

特徴を写真を通して少しお伝えします。

< XS サイズを新たに設計しました >

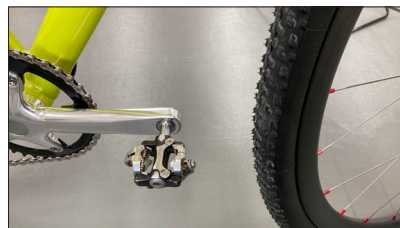


XS サイズではスタンドオーバーハイト (SO) を 668mm とこれまでの最小サイズより更に 50mm スモールに。しかしトップチューブ長などはバランスを崩さずに 490mm をキープしています。

このサイズは CX 世界戦にも参戦した早稲田大学の「大蔵ころ」選手と共に設計しました。



▲小柄なころ選手 (身長 148cm)、しっかりと肩も入ります。設計段階で実寸計算したサイズです。



▲SO が下がることでレースが変わります・・・スリッパですが・・・

◀XS サイズに新型フォークを装着し 165mm のクランクをセットした場合に前輪と約 50mm の距離が保てます。



▲新たなロゴをデザインしました。



▲ダウンチューブは影文字となっており右左影の角度も違いフレームカラーを際立たせます。



◀トップチューブ左側に入るモデル名には Z (ゼット) の文字を重ねています。



◀新たにアナダイズド (アノダイズド) 処理を施した「サンドイースグレー」カラーを設定。表面はサンドフィニッシュですが、ダウンチューブのロゴ (影文字部分) は研磨しマスキング処理で輝くブライトフィニッシュと凝っています。

その走りについて、鈴木来入選手は・・・

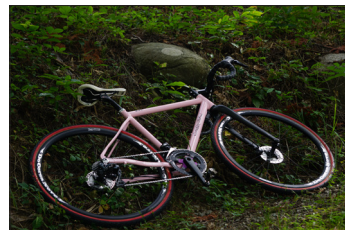
「日本人のために作ったバイクだからそのストレスのない走りを是非体感してください!」とコメントしてくれています。



◀新型フレーム&フォークでトレーニングする鈴木来入選手。一旦海外チームに所属しカーボンフレームにも乗っていたこともありましたが、来入選手は JFF アルミ CX シリーズの歴代全モデルで戦ってきました。



▲鈴木来入選手ファーストバイク。



製品の詳細はワンバイエスの製品 Web サイトをご覧ください。

https://onebyesu.tokyo-san-esu.com/category/frames/jff_807z.html